

## ワークショップ方式での「化学プラントの装置材料損傷事例と対策」

主催：株式会社ベンチャー・アカデミア

## 受講のおすすめ

化学プラントで生じる装置材料の損傷や劣化現象による事象の多くは繰り返し発生しています。損料劣化が繰り返される原因は、損傷事例の経験や知識が、他の組織や部署、および次世代に適切に継承されていないためと考えられます。これまで多くの損傷・劣化の事例が公表されていても、設備の製作者、設計者、運転担当者、および設備管理者が活用できるような情報や知識源として整備されていないことも原因の一つと考えられます。

一方で化学業界を取り巻く環境は、少子高齢化、それに伴う世代交代、プラントの高経年化、国際的競争の激化、CO<sub>2</sub>削減の必要性増大など、喫緊の課題が多くあります。

そこで本研修では、化学プラントで実際に発生した装置材料の損傷事例を題材とし、ワークショップ形式で受講者同士で原因を考え対策について議論をします。その後、講師から実際の対応と材料の損傷・劣化の知識を解説し、議論した内容の適否や知識の妥当性について考えていただきます。ワークショップ形式で受講生自らに考えていただき議論することで、課題を探索し解決策を考える力を養うことを目的とします。

本研修は次のような方に最適です。

- ・数年程度の実務経験を有する設備設計、設備管理、装置の品質管理、設備の検査等の中堅以上の技術者の方
- ・化学会社、石油精製会社、製鉄会社、装置製造会社、プラント建設会社、設備検査などプラントに関わる技術者の方
- ・現在、装置の劣化・損傷でお困りの方、解決方法をお探しの方
- ・装置の劣化・損傷に対する知識を習得し、メンテナンスや維持管理技術への意識を高めたい方

## ワークショップ方式での「化学プラントの装置材料損傷事例と対策」

日時：2025年11月14日（金）10:00 -17:10

会場：横浜新技術創造館リーディングベンチャープラザ1号館 2階 大会議室

〒230-0045 神奈川県横浜市鶴見区末広町1-1-40（JR鶴見線「鶴見小野」駅 徒歩5分）

受講料 ¥49,500（オリジナルテキスト・昼食付、消費税含む）

最小開催人数：3名

## 講師：中原 正大（中原材料技術研究所 代表、博士（工学）、元旭化成株式会社 材料技術部長）

略歴：1979年東北大学大学院機械工学科 機械工学専攻 修士課程修了、同年旭化成工業株式会社に入社、材料技術部長等を歴任し、2023年退職。1996年に博士（工学）、2004年に腐食防食専門士（腐食防食学会認定）、東北大学客員教授、東京工業大学講師、腐食防食学会副会長、化学装置小委員会委員長、MTIアジア地区副会長等を歴任

主な著書：事例に学ぶ 化学プラントの材料損傷とその制御 金属材料の腐食を中心に

## お申込方法

裏面の申込書にご記入の上、郵送、FAX、またはメールにて下記にお送りください。受講料は銀行振込にて2025年10月31日（金）までにお支払願います。（振込手数料はご負担ください）ご入金確認後、開催日が近づきましたら受講票をお送りいたします。請求書が必要な方は申込書に請求先をお書き添えください。

なお払込済の受講料は原則としてお返しいたしません。お申込みが最小開催人数に満たない場合、研修の開催を中止し、払込済の受講料は返金致します。

## お申込み、お問い合わせは

株式会社ベンチャー・アカデミア

〒230-0045 神奈川県横浜市鶴見区末広町1-1-40

横浜市産学共同研究センター 研究棟204号

TEL&amp;FAX 045-718-5325 E-Mail academia@v-academia.jp

ベンチャー・アカデミアでは様々な社会人研修講座を企画・実施いたします。ぜひ一度ご相談ください。

研修内容

11月14日(金)	10:00~17:00
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本研修の流れ</li> <li>・ワークショップと解説                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・中性冷水環境での炭素鋼の腐食への溶存酸素の影響</li> <li>・ステンレス鋼製装置の酸洗浄時の塩化物イオン残留の影響</li> <li>・ステンレス鋼部材の熱間加工の影響</li> <li>・ステンレス鋼製多管式熱交換器の損傷</li> <li>・高張力鋼製ボルトの大気中使用で発生した損傷</li> </ul> </li> <li>・まとめ...それぞれの担当で材料損傷を防止するには</li> </ul>	

特に触れてほしい項目がございましたらお申し込みの際にお書き添えください。

申込先: FAX 045-718-5325

ワークショップ方式での「化学プラントの装置材料損傷事例と対策」 (2025年11月14日) 申込書			
ふりがな		年齢	性別
氏名			男 女
連絡先 (勤務先)	(勤務所在地) 〒 -  (勤務先名) (部署) TEL: E-Mail:		
職種			
当研修で 詳しく聞きたい内容			
受講料振込予定日 月 日   送金予定 振込先: 三菱 UFJ 銀行 二俣川支店 (普) 0968241 (株) ベンチャー・アカデミア 請求書: 受講者へ紙で郵送    下記送付先へ紙で郵送    受講者へPDFを送付    下記送付先へPDFを送付    不要 請求書に記載する宛名:  請求書送付先: (紙で郵送の場合住所、その他へPDFを送付の場合メールアドレス) 〒 -  担当部署、担当者:			
申込書に記入された個人情報は研修運営を円滑に行うため、および今後の弊社の講座企画の資料として使用いたします。それ以外の目的では利用いたしません。 今後の弊社の研修講座のご案内を希望されない方は、その旨FAX、メール等でご連絡ください。			